

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記  
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 11 月 17 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

デノタスチュアブル配合錠（整形外科）【院外限定】

薬効： カルシウム／天然型ビタミン D3／マグネシウム配合剤

申請理由： カルシウムの吸収を促進する天然型ビタミン D3 に加え、カルシウムの代謝に関与するマグネシウムを配合している。デノスマブ投与時の低カルシウム血症の発現抑制効果あり。

採用中止薬剤： なし

ザクラス配合錠 HD（循環器内科）【院外限定】

薬効： 持続性 AT1 レセプターブロッカー/持続性 Ca 拮抗薬配合剤

申請理由： アンジオテンシン II 受容体拮抗薬（ARB）とカルシウム拮抗薬の合剤。この組み合わせは日本で繁用されており、降圧効果の一段の増強が見込まれる。患者のアドヒアランス向上に役立つ。

採用中止薬剤： なし

イニシンク配合錠（糖尿病センター）【院外限定】

薬効： 選択的 DPP-4 阻害薬／ビッグアナイド系薬配合剤－2 型糖尿病治療剤－

申請理由： DPP-4 阻害薬とメトホルミンの組み合わせた、日本で唯一の 1 日 1 回投与が可能な配合錠。患者のアドヒアランス向上およびそれに伴う血糖コントロール改善に役立つ。

採用中止薬剤： なし

トルリシティ皮下注 0.75mg アテオス（糖尿病センター）

薬効： 持続性 GLP-1 受容体作動薬

申請理由： 専用のシングルドーズペンは、すぐに使うことができ、操作も針の取り付け、薬剤の混濁、空打ちが不要。デバイスの使い勝手が良い。

採用中止薬剤： ビデュリオン → 【院外限定】

レベミル注 フレックスペン（糖尿病センター）

薬効： 持続性 GLP-1 受容体作動薬

申請理由： 1 日 1 回投与でほぼ 1 日にわたって血糖降下作用が持続する持効型溶解インスリンアナログ製剤。デバイスの使い勝手が良い。

採用中止薬剤： レベミル注 イノレット → 【院外限定】

スインプロイク錠 0.2mg (外科)

薬効： 経口末梢性  $\mu$  オピオイド受容体拮抗薬

申請理由： 国内初の末梢性  $\mu$  オピオイド受容体拮抗薬であり、1日1回1錠投与のオピオイド誘発性便秘症治療薬。麻薬使用患者では便秘は必発であるため、必要。

採用中止薬剤： 苓桂朮甘湯 → 【院外限定】

## ② 区分変更医薬品

【患者限定】 → 【本採用】

- ・クラシエ人参養栄湯エキス細粒 (外科)
- ・ナイキサン錠 100mg (内科 複数科)

## ③ 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	後発名
アネキセート注射液 0.5mg	フルマゼニル静注液 0.5mg 5mL 「F」

## ④ 使用成績調査について

1.調査区分：使用成績調査

2.医薬品名：マキュエイド眼注用40mg

3.調査目的：使用実態下における以下の項目を検討することを目的とします。

- (1) 副作用発現頻度、未知・重篤な副作用、器官分類別発現状況等の発現傾向
- (2) 患者背景における安全性と有効性の層別解析
- (3) 特定使用成績調査、製造販売後臨床試験の必要性の有無の検討

4.調査予定期間：契約期間開始から2年6カ月間 (調査期間は調査票入力・送信期間も含む)

登録期間：契約期間開始から1年間

観察期間：投与開始日から投与後1年までを有効性観察期間、なお、再投与後12週の時期が初回投与から1年を超える場合は、投与後1年3カ月までを有効性観察期間とし、投与開始から最終観察日までを安全性観察期間とします。

5.予定症例数：5例 (糖尿病黄斑浮腫5例)

6.調査責任医師：三島壮一郎